

目次/ 編集方針	トップ メッセージ	グループ概要	ニコンのCSR	事業を通じた 社会への貢献	環境問題 への対応	CSRの 基盤強化	企業市民活動
-------------	--------------	--------	---------	------------------	--------------	--------------	--------

> 光利用技術などによる社会課題の解決 > イノベーションへの挑戦 > 製品・サービスの品質向上

重点課題 2

イノベーションへの挑戦



重要と考える理由

社会課題は複雑化・深刻化し、なりゆきのままでは将来的に社会は維持できないと認識されています。そのため、社会システムやライフスタイルを変革するようなイノベーションが必要です。企業にはイノベーションマネジメントを確立し、社会とともに課題解決に挑戦することが期待されています。

コミットメント

ニコングループは、企業理念「信頼と創造」のもと、コア技術である光利用技術、精密技術を活用してさまざまな社会課題やニーズに応えていきます。

2019年5月に発表した中期経営計画では、ニコングループの長期成長領域として「デジタルマニュファクチャリング」「ビジョンシステム/ロボット」「ヘルスケア」を掲げ、その中で中期経営計画期間中に注力するテーマをデジタルマニュファクチャリング領域の中の「材料加工事業」と決めました。近年、AIやIoTによるものづくりの変容や、先進国への生産回帰による人手不足とそれに伴う自動化ニーズの高まりなど、製造業を取り巻く環境は大きく変化しています。また、アフターコロナの社会において、人と協調・協働するロボットへの期待がますます高まっています。このような中でニコングループは、研究開発によりこれまで培ってきた技術の価値をさらに高めるとともに、オープンイノベーションなどを通じて積極的に社内外の技術やアイデアを取り込み、新たな価値を創出するイノベーションを起こしていきます。

代表取締役 兼 社長執行役員 技術戦略委員会委員長 馬立 稔和

体制

- 技術戦略委員会

目次/ 編集方針	トップ メッセージ	グループ概要	ニコンのCSR	事業を通じた 社会への貢献	環境問題 への対応	CSRの 基盤強化	企業市民活動
-------------	--------------	--------	---------	------------------	--------------	--------------	--------

> 光利用技術などによる社会課題の解決 > イノベーションへの挑戦 > 製品・サービスの品質向上

新たな価値を創出するイノベーション

ニコングループでは、継続的にイノベーションを起こすことにより、社会に新しい価値を提供し、企業価値を高めていきます。

イノベーションに対する基本的な考え方

ニコングループにとって、コア技術である光利用技術や精密技術を活かして継続的にイノベーションを生み出していくことは、社会課題の解決に貢献するとともに、企業価値を向上させていくための重要なテーマです。

ニコングループでは、継続的にイノベーションを起こしていくために、研究開発とオープンイノベーションが特に重要な柱と考えています。

イノベーション促進のための柱

・コア技術をベースとした幅広い分野の研究開発

長期的な技術戦略に基づき、新規技術の研究開発やこれまで培った技術の応用・転用を推進する

・新たなアイデア、知見を探索するオープンイノベーション

社内や社外を問わず、幅広く新しい製品やサービスを提供するためにパートナーと協働し、新製品の開発や新事業の立ち上げのスピードを加速する仕組み

イノベーションを推進する体制

ニコングループでは、各部門ならびに各グループ会社が連携してイノベーション創出に取り組んでいます。

研究・開発においては、技術戦略委員会でこれからの社会や市場動向を踏まえ、ニコンが注力すべき新領域の開拓や、既存事業の競争力向上につながる技術戦略と、その実現に向けた研究開発計画を策定しています。

成長戦略に位置付ける材料加工事業およびビジョンシステム/ロボット関連事業では、2019年7月新設の次世代プロジェクト本部と、2020年4月新設のデジタルソリューションズ事業部の連携により、事業領域を具体化し、事業の立ち上げを加速しています。また、各事業部に共通する技術や将来技術の研究開発は、研究開発本部が担っています。

オープンイノベーションを推進する仕組みとしては、コーポレートベンチャーキャピタルに取り組むとともに、プライベート・ファンドを設立してベンチャー企業に直接投資しています。さらに有望な技術やアイデアをもつベンチャー企業や従業員を支援・育成する仕組みを設けています。全社横断のオープンイノベーションを実現し、成長戦略の実現に向けた研究開発を強力に推進できる体制を構築します。

新しい価値を提供する新事業の創出

新しい事業テーマが事業化に至る確率は非常に低いといわれており、その実現のためには的確な社内外の開発体制の構築、迅速なリソース投入が求められます。

ニコングループでは、オープンイノベーションへ積極的に取り組んでおり、その結果として、2020年3月期にさまざまな企業との協業を開始しました。具体的には、デジタルマニュファクチャリングの材料加工事業では、事業開発を加速するためにDMG森精機株式会社との包括的な業務提携を締結。また、光加工機の技術開発のために株式会社XTIAへの出資も実施しました。映像事業では、コンピュータービジョンおよびディープラーニングに関するソフトウェアを手掛けるwrnch, Inc.への出資を実施。ヘルスケア事業では、創薬研究の支援を行う「Nikon Bioluminescence Lab」をボストンに開設しました。

ニコングループのコア技術をさらに強化するとともに、オープンイノベーションへの取り組みも加速することで、新たな市場やお客様のニーズに応えられる事業を継続的に創出していきます。